

いわちゃん ポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員



岩井やすのり

略歴 1970年（昭和45年）生まれ 県立君津高卒
専修大卒、早稲田大大学院 政治学研究科修了

事務所連絡先 Fax: 0476-36-7802

HP: <http://www.iwai-y.jp> メール: mail@iwai-y.jp

印旛郡栄町安食台 2-26-23 (栄町役場前大山ビル 2F)



Twitter

公式HP

Facebook YouTube

長門川整備が前進～支川の氾濫対策が課題

令和3年度から着工されている長門川の整備事業。今年度は約140ha、来年度には400ha余りの完成が見込まれる中、支川である将監川の氾濫対策、農業用排水路の確保は重要な課題です。



●台風19号被災をきっかけに長門川事業が進展

栄町と印西市の境を流れる長門川。印旛沼水の排水に重要な役割を担いますが、河岸は木柵による補強さえほとんど行われておらず、大雨緊急時の排水に大きな支障となっていました。

平成30年には、栄町・ふじみ橋～酒直水門（約4.3キロ）の築堤工事が事業化されたものの、当初は「完成まで20年はかかる」と言われるなど遅々として進まない状況。大きく動いたのは、令和元年の台風19号による被災がきっかけで、緊急時に印旛沼水を利根川にも排水できるようになると、長門川の整備事業に予算が投じられるようになったのです。

県は、水流により浸食しやすい場所など重点箇所を対象に、先行して矢板設置とコンクリート施

工を行う第一段階、次いで盛土による築堤工事を行う第二段階に分けて事業を進める方針。現在はその第一段階にあり、今年度は約140haが進捗。令和5年度には、今年度から2年がかりで進められている280haに加え、新たに着工となる160ha部分も完成し、合わせて約440haの区間が完成する見込みとなっています。

●逆流入を防ぐための水門設置、護岸整備

さて、長門川への矢板・コンクリート護岸、盛土による堤防整備は、結果として長門川の水位が上昇することとなります。結果、将監川など長門川に流入する支川や水路の水位が低くなり、緊急排水時に長門川水が逆流入し、氾濫してしまう懸念があるのです。

対策として、逆流を防ぐための水門設置、支川や水路の護岸整備などが求められるところ。地元自治体である栄町や関係者からの声を受け、県に対策の徹底を強く働きかけています。

●農業用排水路の確保も大切な課題

加えて、長門川に注ぐ農業用排水路の確保も大切な課題です。長門川周辺には農業生産者が多くいますが、護岸や堤防が整備された後もその排水先の確保が求められるところ。土地改良区として地区ごとに水路を管理しているケースばかりでなく、個人として水路を管理しているケースについても、しっかりと要望に応える必要があります。

引き続き、地元住民の声をしっかりと拾い上げ、長門川整備により地域に不都合が生じることがないよう、働きかけを続けてまいります。

相次ぐ要望の声 印西牧の原駅へのアクセス特急停車

周辺の人口増が進む印西牧の原駅。「特急への乗り換えが必要で不便」等の利用者からの声を受け、同駅へのアクセス特急の停車を働きかけています。

●停車するのは北総特急上り5本、下り2本のみ

昨年10月に鉄道運賃が値下げとなり、特に子どもが通学利用する家庭の負担軽減が実現した北総線。しかし、印西牧の原駅を通勤等で利用する市民からは、アクセス特急が停車しないことについての不便の声が上がっています。

印西牧の原駅に停車するのは、普通電車と北総鉄道・特急電車の上り5本、下り2本のみ。朝夕を問わず運行されるアクセス特急が停車しないため、「特急電車への乗り換えが必要で不便」「アクセス特急は停まらないのか」との声は少なくありません。

実は、同駅へのアクセス特急停車については、4年前に同列車を運行する京成電鉄社に打診。しかしその際には、「乗車人員がそう多くない」「アクセス特急停車についての要望がほとんどない」等の理由から、「同駅へのアクセス特急停車は考えていない」との回答となっているのです。

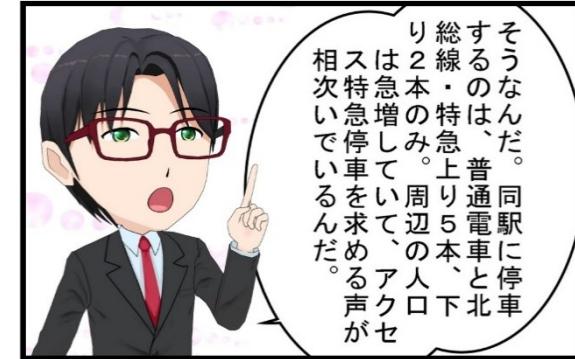
●下りの通勤時間帯だけでも実現させたい

しかし、昨年末の牧の原地区の人口は2万2千人余りと、ここ10年で1万2千人も増加。北総線各駅の中では、東松戸駅に次いで4番目の多さとなっており、乗車人員の要件は満たされつつあります。地元選出の県議会議員として、改めて京



印西牧の原駅へのアクセス特急停車について 京成電鉄社からの回答(令和元年)

- ・アクセス特急の停車駅はその速達性を維持しつつ、乗降客数や他線への乗換え等を考慮し決定している
- ・同駅の乗車人員は、千葉ニュータウン中央駅等と比較しそう多くない
- ・印旛日本医大駅は、同駅から上り方面へと向かう他列車への乗換え駅であるため、アクセス特急の停車駅となっている
- ・白井駅等にはアクセス特急の停車要望があるものの、印西牧の原駅についての要望はほとんどない
- ・以上のことから、現在は印西牧の原駅へのアクセス特急の停車は考えていない



成電鉄社への要望活動を行っているところですが、「内容を絞った」「地域を挙げた」要望についていく必要があると思っています。

内容については、アクセス特急の全面停車が理想ですが、都心 ⇄ 成田空港の速達性確保を考えると難しく、まずは「通勤時間帯の下りアクセス特急停車」や「下り北総線特急の増発」というのが現実的。また、「地域を挙げた」という点では、牧の原地区住民の声をまとめ上げた上で、自治体を巻き込んだ要望にしていきたいところです。

2月県議会・総合企画常任委員会にてこの問題を取り上げるとともに、牧の原地区の意見集約を行った上で、地域として要望が上げられるよう、時間をかけた働きかけを行ってまいります。